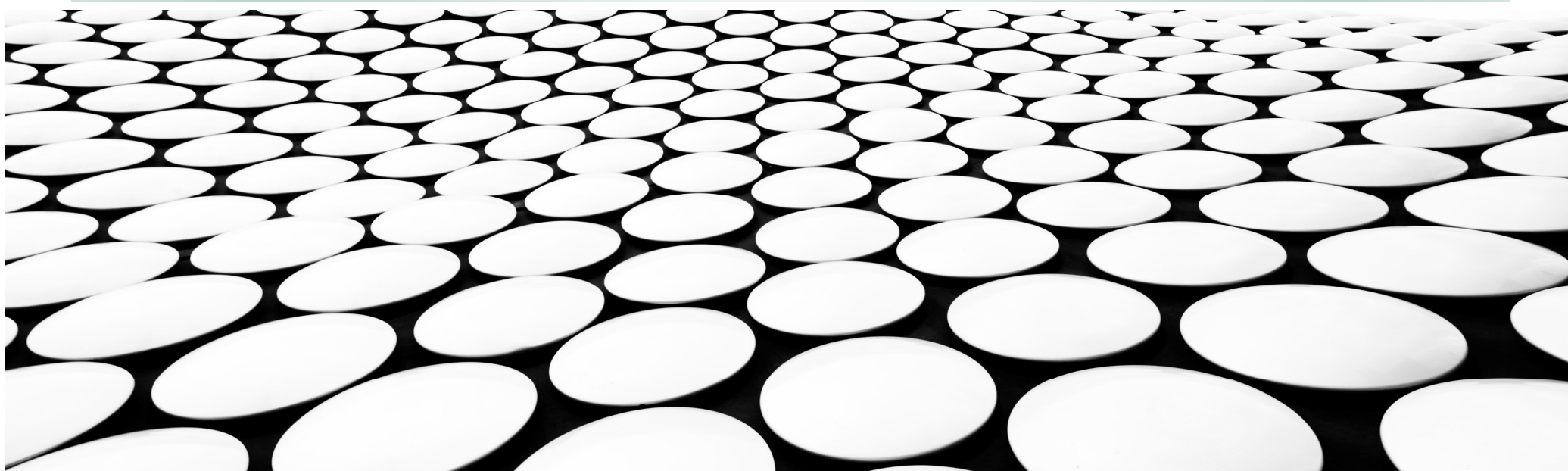


海外協定校への留学や、英語で修了できるプログラム により国際的視野で公共政策を学ぶ



GraSPP
THE UNIVERSITY OF TOKYO

東京大学公共政策大学院
GRADUATE SCHOOL OF PUBLIC POLICY
THE UNIVERSITY OF TOKYO

2024年5月14日

海外協定校への留学や、英語で修了できるプログラムにより国際的視野で公共政策を学ぶ

- 充実した留学制度：ダブル・ディグリー、交換留学プログラム
- Master of Public Policy, International Program (MPP/IP) 国際プログラム
- CAMPUS Asia Plus キャンパスアジア・プラス

充実した留学制度

	交換	DD
1 シンガポール国立大学リー・クアンユー公共政策大学院 (LKY-SPP) ※ 	○	○
2 コロンビア大学国際・公共政策大学院 (SIPA) ※	...	○
3 パリ政治学院 (SciencesPo) ※	○	○
4 ヘルティ・スクール※	○	○
5 ソウル大学校国際大学院 	○	○
6 北京大学国際関係学院 	○	○
7 ハイデルベルグ大学クラスター・オブ・エクセレンス	○	...
8 ジェトリオ・ヴァルガス財団サンパウロ・ビジネススクール (FGV-EAESP) ※	○	...
9 HEC経営大学院	○	...
10 国際連合大学サステイナビリティ高等研究所	○	...
11 ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) ※	...	○
12 オーストラリア国立大学クロフォード公共政策大学院 (ANU)	...	○
13 カリフォルニア大学ロサンゼルス校ラスキンスクール (UCLA)	○	...
14 キングス・カレッジ・ロンドン (KCL)	...	○

※公共政策大学院以外のGlobal Public Policy Network (GPPN) 加盟6校。

 公共政策大学院以外のCAMPUS Asia Plus参加3校

充実した留学制度：ダブル・ディグリープログラム

- 2つの大学院の修了要件を一定期間内に満たすことによって、それぞれの大学院から学位を授与される制度。原則、GraSPPで1年～1年半、留学先で1年修学。
- ダブル・ディグリーで留学できる大学は9校、留学中の授業料は留学先または東京大学のいずれかに支払う。



中山桃子（中央、2022年入学、SIPAにDD留学）



井上光司（2016年入学、SciencesPoにDD留学）



高橋尚大（2022年入学、LSEにDD留学）

2024年5月14日

充実した留学制度：交換留学プログラム

- 通常 1 学期間、協定校に留学し、留学先で取得した単位を東京大学で認定することができる制度。
- 交換留学できる協定校は10校。交換留学では留学中の授業料は東京大学に支払う。



藤田悦光（2022年入学、Hertie Schoolに交換留学）



仲間悠衣（2022年入学、SciencesPoに交換留学）



柴田紗良（2020年入学、SNUに交換留学）

ダブル・ディグリーにチャレンジした社会人経験者



高野弘毅（茨城県庁から2016年4月入学、ANUにDD留学）

茨城県庁職員として公共政策大学院に入学後、オーストラリア国立大学クロフォード公共政策大学院へダブル・ディグリー留学。

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/grasppers-voice/2018-08-20-15130/>

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2018/06/ANU-Double-Degree.pdf>

松浦果穂（2021年4月入学、SIPAにDD留学）

学部卒業後、三菱重工業株式会社をへて公共政策大学院に入学。SIPA留学中には国連日本政府代表部でインターンとして安全保障理事会関連の仕事を経験。

<https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/grasppers-voice/k-matsuura/>



2024年5月14日

公共政策大学院

2015年4月
経済政策コース入学

2015年5～7月
国家公務員試験

2015年8月～2016年5月
コロンビア大学国際・公共政策大学院
修士号取得



2017年3月 修士号取得
2017年4月 経済産業省入省

ヘルスケア産業、ソーシャルイノベーション、行政DX関連政策に従事、シンガポール勤務

現在、経済産業省大臣官房Web3.0政策推進室で課長補佐として勤務されている板垣和夏さん(中央)のケース。

- 英語による科目の履修だけで学位が取れるプログラム（2年間で46単位中、28単位以上の英語科目）
- 筆記試験は行わず、オンライン出願による書類審査と面接のみで選考。
- 入学時期は4月と9月（授業開始日によっては10月）、65名/学年。
- 新卒・準新卒と職業人の2つのカテゴリーから選択。職業経験を活かすには職業人カテゴリーでの出願を推奨。
- 2つのPolicy Streamからいずれかを選択。
 - EPFD（Economic Policy, Finance and Development）「経済政策、金融、開発」
 - PMIR（Public Management and International Relations）「公共管理、国際関係」
- カリキュラムと修了要件は、ダブル・ディグリーに対応した設計。

- ❑ 世界約30か国・地域からの学生と共に学び、留学さながらの体験ができる。
- ❑ IMF、世界銀行、アジア開発銀行、JICA等の奨学生として学ぶ行政官などのミッドキャリア留学生約20名がクラスメート。
- ❑ 日本人出願者を歓迎。
2024年度の出願者29名→合格者9名
- ❑ 職業人出願者は増加傾向。



□ 国内外に広がる修了生ネットワーク





GraSPPers Voice

在校生の声、留学体験談、官公庁、企業、国際機関等で活躍する修了生の近況、教員の紹介など、コース別、キャリアセクター別に検索可能なページです。

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/grasppers-voice/v>



2019.4.8 | 赤尾邦和
from Japan
GraSPPの経験を活かした国際機関でのキャリア形成について

修了生 国際公共政策 国際機関



2022.2.24 | 桑原悠
from Japan
GraSPPでの出会いや学びを地方自治に活かす

修了生の声 法政策 公務員



2022.3.7 | Hiroaki Nawa
from Japan
実務家として、政策立案者として、文化施設の変革を志す

Student | Public Management
Consulting



2022.12.8 | 天明麻衣子
from Japan
三足の草鞋でGraSPPを駆け抜ける

在校生の声 経済政策 情報通信業



2020.8.6 | 青井千由紀教授
from Japan
世界を見渡し、日本を見つめる「戦略的コミュニケーション」の研究者

教員の声



2020.9.2 | 青木尚美教授
from Japan
Administrative Intelligenceを持つて、行政を考える

教員



2020.9.11 | 小川光教授
from Japan
未知の環境が自己の再発見につながる

教員の声



2020.12.3 | 渡辺安虎教授
from Japan
政策にもビジネスにも活かせる分析力を多様性の中で磨き上げる

教員の声



2021.7.5 | 城山英明教授
from Japan
俯瞰的視点で公共政策を考える

教員の声



2022.2.15 | 榎井誠教授
from Japan
理想の力を実務に活かす

教員の声



2023.5.31 | 西沢利郎教授
from Japan
実務と学問の間を行き来し、理論と実践のギャップを埋める

教員の声



2023.8.23 | 岩本康志 教授
from Japan
授業を通じて作る様々なネットワークは生涯に渡る貴重な財産

教員の声



2023.11.22 | 金貝 講師
from China
政治・行政や医療への関心が「自分にしかできない議論」を立てるための第一歩

教員の声

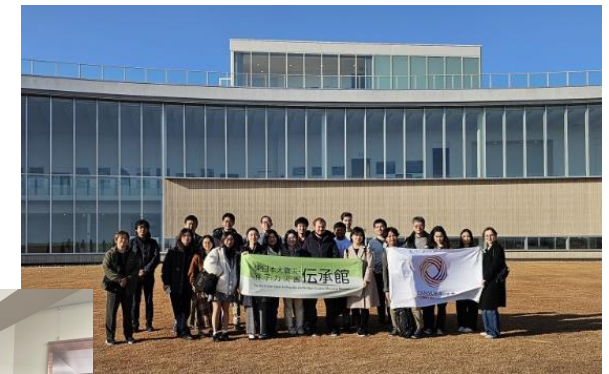


CAMPUS Asia+

UTokyo / PKU / SNU / NUS

キャンパスアジア・プラスプログラム

- 東京大学の公共政策大学院、北京大学の国際関係学院、ソウル大学校の国際大学院、シンガポール国立大学のリー・クアン・ユー公共政策大学院の4大学による「ダブル・ディグリー＋交換留学」プログラムに参加する。留学先での授業は英語。
- 異なる文化、視点から横断的な学びにより、東アジアに関するより深い専門性を築き、包括的で本質的な理解を導く。
- 日本語、中国語、韓国語の学習機会を提供する。
- 「キャンパスアジア・ジョイントコース」での4大学教員による授業やグループワークでの演習
- 修了後も充実した修了生ネットワークで、キャンパスアジア・ファミリーであり続ける。



写真上：2023.12 福島への
フィールドトリップ

写真左：2024.5 日本銀行訪問

2024年5月14日

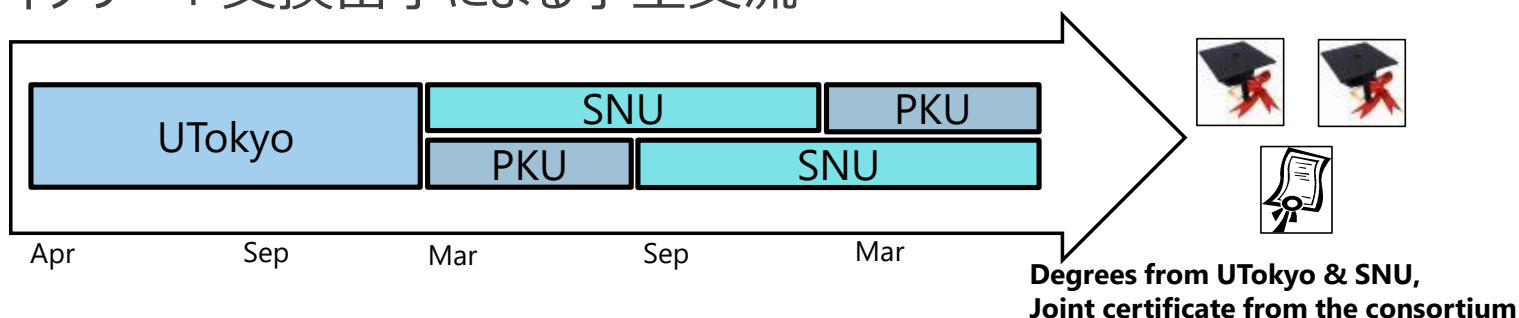
12



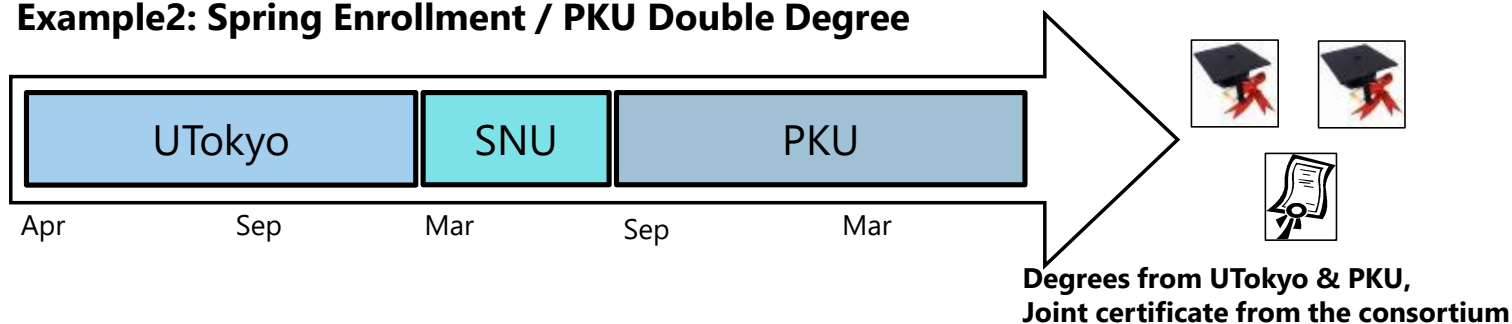
キャンパス・アジア・プラスの概要



- 従来、東大・ソウル大・北京大の3か国で実施
- 2021年度からキャンパス・アジア・プラスとしてシンガポール国立大学が加わる
- ダブル・ディグリー + 交換留学による学生交流



Example2: Spring Enrollment / PKU Double Degree



キャンパス・アジアに入ることのメリット

* JASSOの奨学金に依存するため、制度が変わりえる点に注意してください。

- ① 2.5年で東大だけでなく、もう一か国でディグリーの取得が可能。
- ② 北京大とソウル大については、原則、東大に通学するのと同程度の学費で留学をすることができる。
- ③ 成績が一定以上であれば、JASSOなどの制度と併用することで奨学金を得ることができる*。寮についてもサポートがある（シンガポール国立大学の場合、授業料及び寮はシンガポール国立大学の授業料負担になるなど、負担が増える点に注意）。
- ④ 英語が必ずしも得意でない場合、非英語圏で英語で学習をすることが可能。
 - ◆ 東大でも英語のプログラムがあるが、海外に留学することで英語を使わなければならない環境に身を置くことができる。
 - ◆ 東大では日本語の講義を受けることもできるが、留学先では英語の講義が前提。
- ⑤ 日本語と英語以外の言語を身に着ける良い機会に。
 - ◆ アジアの学生は母国語と英語以外にもう一か国語以上話せるケースが多い。
- ⑥ キャンパスアジアのネットワークに入ることが可能。
 - ◆ 東大にいても、アジアからの留学生との接点が増える。英語を使う機会や他文化に触れる機会も増える。

キャンパス・アジア・プラスに入るためのプロセス

- ① 東大の入学（または合格）後、東大内で募集を行う。
 - ◆ 在校生の応募については、秋ごろに申請を受け付けます。詳細が決まり次第、GraSPPホームページ・掲示板でお知らせします。
 - ◆ 今年の入試にパスした場合、2024年10月から2025年1月頃に案内をする予定です。
- ② 成績書やTOEFLのスコアなどの提出を求めます。大学での成績、英語のスコアなどを総合して一定のセレクションを行う点に注意してください（希望した場合、全員がキャンパスアジアに参加できるとは限らない点に注意してください）。

お問い合わせ先

東京大学公共政策大学院

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-1349

メールでのお問い合わせ：

- 専門職入試、博士課程、履修関係、その他のお問い合わせ（公共政策学務チーム）
ppin.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
- 国際プログラム（MPP/IP）
mppipdesk.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
- キャンパスアジア・プログラム（CAMPUS Asia Program）
exchange.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
- ダブル・ディグリー/交換留学プログラム
exchange.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp